

事務事業評価シート 平成 27 年度事後評価・決算

平成 29 年 2 月 22 日時点

事務事業名		コード	31700 市営住宅改修事業	予算科目	会計	款	項	目	事業種別	担当班	管財管繕班
実施体系		基本施策	21 良好な生活環境の形成	根拠法令	公営住宅法、旭市営住宅の設置及び管理に関する条例	8	4	1	☒ 主な事業		
施策の展開		40 市営住宅の維持管理	戦略事業	195 市営住宅の長寿命化及び老朽化住宅の解体(市営住宅改修事業費)					☒ 国土強靱化地域計画		
施策の展開			戦略事業						☐ 新市建設計画		
									☐ 定住自立圏構想		
									☐ 主要事業		

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない	
☒ 単年度繰返 ☐ 平成 年度～ ☒ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで	市営住宅の改修を行い、住宅及び付帯設備の長寿命化を図る事業 ・旭市営住宅長寿命化計画に基いた大規模改修、修繕 ・付帯設備の改修、修繕(物置、遊具、ポスト等) ・住宅の解体 ※平成28年度より、定期修繕、緊急的な修繕は住宅管理費(31600)へ移行した。	
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等
H21年度策定の長寿命化計画に基づき、H22、23と大規模改修を行っている。	住宅の老朽化により、大規模改修が必要な住宅が増加し、H28年度には長寿命化計画を見直すため、今後も大規模改修を継続する必要がある。	定期修繕において施工時期が遅いとの声があった。

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(27年度の決算)	単位:千円	単位	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(予算)
1.需用費	7,332:定期修繕(4,752)、鎗木住宅屋根樋修繕(268)	千円	6,216	6,365	6,656	7,332	0
2.工事請負費	2,248:下永井団地物置修繕(1,242)、双葉Aポスト修繕(246)	千円	0	0	5,867	2,248	17,777
		千円					
		千円					
		千円					
② 特定財源の内訳(27年度の決算)	単位:千円	事業費計 (A)	6,216	6,365	12,523	9,580	17,777
1.国庫支出金	0	1. 国庫支出金	千円	0	0	0	8,888
2.都道府県支出金	0	2. 都道府県支出金	千円	0	0	0	0
3.使用料	7,858:市営住宅使用料	3. 使用料	千円	242	5,748	7,354	8,889
4.その他	961:市営住宅修繕料本人負担分	4. その他	千円	5,974	617	320	961
		5. 一般財源	千円	0	0	4,849	761
							0

前年度増減理由	大規模改修実施予定のため
---------	--------------

従事職員数 常時 1人 最大 2人 × 5日 = 延べ 10人

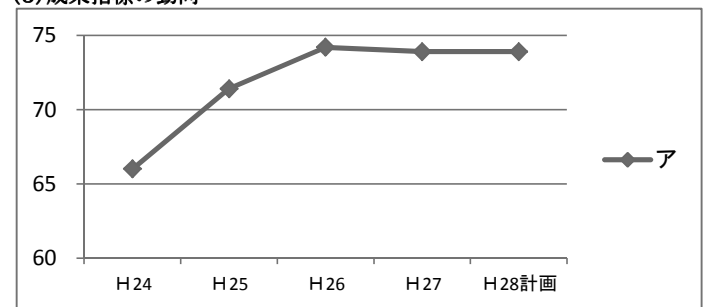
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

① 主な活動	⇒	③ 活動指標名	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
27年度実績(27年度に行った主な活動)								
・定期修繕工事(61戸)		ア 大規模改修、修繕実施件数	件	0	0	5	0	0
・下永井団地物置修繕工事		イ 付帯設備改修、修繕件数	件	5	1	4	5	1
・鎗木住宅屋根樋修繕工事								
・双葉団地A郵便受箱修繕工事 他2件								
② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	⇒	④ 成果指標名	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
対象意図 市営住宅		ア 老朽化率	%	66.0	71.4	74.2	73.9	73.9
対象意図 長寿命化し、長期的なコスト削減に繋がる								
対象意図 計画的な改修・修繕を行った市営住宅の入居者								
対象意図 居住性の向上								

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果	② コスト削減優先度評価結果
成果向上余地	コスト比率
かなりある	下位 1/3
ある程度ある	中位 1/3
ほとんどない	上位 1/3
大きい	①
普通	②
小さい	③
	④⑤
	⑥
	⑦⑧
	⑨

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

① 進捗状況	☐ 完了 ☐ 順調 ☒ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難
【コメント】(停滞・実施困難の場合、その理由)	昨年度までは、定期修繕や緊急的な修繕を行っており、住宅入居者入居者から喜ばれることが多かった。今年度からは、住宅や付帯設備の改修、住宅の解体等に絞りを事業を実施していくこととなる。
② 成果の状況	成果指標ア 成果指標イ 成果指標のタイプ 数値減=成果向上 ☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下 ☐ 向上 ☐ 横ばい ☐ 低下
【コメント】(低下の場合、その理由)	住宅ストックが次々に耐用期限を迎えているため。
③ 今年度取組事項(今年度新たに取り組む事項について記載)	時期 平成28年8月～ 内容 下永井団地浄化槽交換工事
	平成29年1月 改修後アンケートの実施
今後の方向性	☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 見直し ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ その他 ()
	H28年度～ H28年度再策定する「公営住宅長寿命化計画」に沿い、予防的改修を行う。